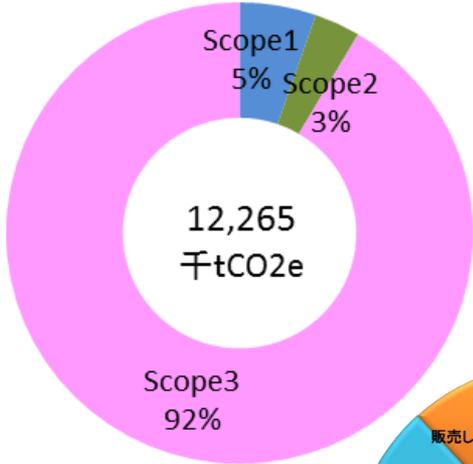
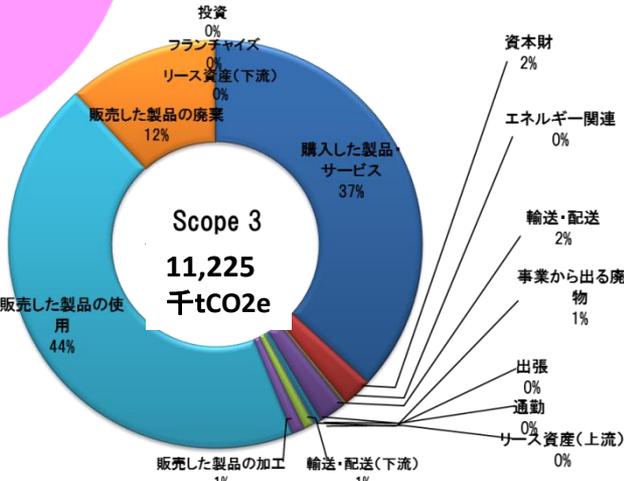


# 花王(株)

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 業種：化学</li> <li>● 事業概要：トイレタリー、化粧品、化学品メーカー</li> <li>● 事業規模：売上 1.46兆円（2016年）</li> </ul>
2.削減目標案 ※定量値公表が難しい場合、定性的説明でも可	<p>&lt;Scope 1・2の削減目標と削減に向けた取り組み&gt;</p> <p>目標 SDAに基づき、2030年目標設定</p> <p>&lt;Scope 3の削減目標と削減に向けた取り組み&gt;</p> <p>以下の中から選択予定</p> <p>カテゴリ 1：                主要サプライヤーとのエンゲージメント                削減目標設定サプライヤー数</p> <p>カテゴリ 11：                消費者と使用時の削減を行うためのエンゲージメントを行う                節水商品の提案</p> <p>カテゴリ 12：                詰替え容器の販売量増加</p>

# 花王(株)

項目	内容	
3.基準年のGHGインベントリ  2016年実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Scope 1・2・3の排出量の状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE1 : 649千t-CO<sub>2</sub>e</li> </ul>
	<p>2016年CO<sub>2</sub>排出量</p>  <p>12,265 千tCO<sub>2</sub>e</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE2 : 391千t-CO<sub>2</sub>e</li> </ul>
	<p>Scope3 カテゴリー内訳</p>  <p>Scope 3 11,225 千tCO<sub>2</sub>e</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE3 : 11,225千t-CO<sub>2</sub>e</li> </ul>

# 花王（株）

項目	内容
<p>4.気候変動によるリスクと機会の分析</p>	<p>&lt;リスク&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏場の高温期間の長期化、台風の大型化や降水量の極端化などによる自然の変化に伴う対応や避けられない被災など、事業運営に関するリスク</li> <li>・気候変動への取り組みが不十分であった場合、環境対応製品市場への参入が困難となったり、さまざまなステークホルダーの信頼が得られないなどの事業継続や成長に関するリスク</li> </ul> <p>&lt;機会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気温上昇により消費が増える製品や水利用可能量の減少に伴い節水型製品の需要増加。</li> <li>・顕在化しつつあるニーズに対応する製品の提案による事業拡大。</li> <li>・積極的な情報公開により、さまざまなステークホルダーの信頼感向上と企業価値向上</li> </ul>
<p>5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など</p>	<p>&lt;背景・目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スコープ1+2、スコープ3にかかる2020年目標は設定済。次期目標設定を検討中。</li> <li>・2℃目標を達成に貢献したい。</li> </ul> <p>&lt;期待する効果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客を含む多くのステークホルダーからの信頼性が向上し、ビジネスチャンス拡大・レピュテーション向上</li> <li>・社員の目標レベルの納得性と活動活性化</li> </ul>

# 花王（株）

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none"><li>• SBT認定に必要なレベル感を経営層に明示</li><li>• 社内コンセンサスは、今後得ていく予定</li><li>• 社内での議論のポイントは、SDAにおいてケミカルセクターが認められていないことに対する対応をどうするか、に集中している</li></ul>
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>• SDAにおいてケミカルセクターが認められていないことに対する対応</li><li>• スコープ1・2 : SBTへのアクションプラン策定と費用の明確化</li><li>• スコープ3 : それぞれのカテゴリにおける活動のレベルUP</li></ul>